

# 中国への感謝をかたちにして届けたい

文◎株式会社浦美術館社長 浦博義

## 美術品から飲食店まで、

### 多角経営企業としての取り組み

私ども「株式会社浦美術館」は、堺市の本店を拠点として美術品売買、飲食店経営、万博や祭のようなイベントでの店舗出店等を行っています。本店では、様々な美術品や骨董品を扱っており、月に2度、大がかりな市も開催しています。支店には象牙を主に扱う店舗や、無料喫茶室を併設した美術館もあり、美術館では日本の鎧兜から西洋風の置物や絵画、中国の皇室で使われていたような家具類等、貴重な美術品を多数鑑賞していただくことが可能です。飲食店舗については主に軽食を取り扱い、2005年に開催された愛知万博でも出店をさせていただきました。私どもはチャレンジ精神を忘れず、多角的に経営範囲を広げ、営業を行っています。

### チャレンジ精神と中国進出への意欲

私個人としては、会社経営の他にも、猪俣公章氏作曲による、演歌歌手としてのCD制作、自身の半生を描いた本『ごんたくれ』の出版、吉本興業の舞台へ



浦博義氏

### 株式会社浦美術館

景気回復がなかなか進まない不安定な世界情勢の中で、中国経済の勢いと力強さは重要な役割を果たすと考えています。浦美術館株式会社は、日本で営業を行っている業種で培った様々な技術を用い、その役割の一部分を担えるような企業として中国に貢献できるよう、日々努力しています。

の出演、自社テレビCMへの出演等、様々なことにチャレンジしています。地域のイベント等から依頼されれば、今でも歌手としてステージに立つこともありますし、また、大学や企業からの要望で、「自分を育てるのは自分である。自分をコントロールできる人間にならなければいけない」という理念を軸に、講演を行ったこともあります。そのチャレンジ精



愛知万博に展示され話題を呼んだ、マンモスの牙前での記念撮影。

神を会社経営にも反映し、70歳を迎えた今もなお、その意欲と勢いは衰えず、様々な企画を立案しています。今は、創業当初より美術品の売買等で培った中国との関係を地盤にし、中国への店舗展開を行いたいと考えています。経済成長の早さ、そして、現在の世界的な金融危機からいち早く脱却しつつある中国経済は素晴らしいものです。今までは輸入が主でしたが、今後は日本の美術・骨董品の販売についても、中国での営業範囲を拡大していく方針です。

### 中国への感謝と貢献

中国と仕事を行ってきた中で、いろいろな人に助けられたことに、私は大変な恩義を感じています。今でも、関わりのない仕事のことでも助けられる仲間が中国にはたくさんおられます。一度お付き合いをさせてもらっただけでも、その後も長く、良くしてくれる人ばかりです。私は、中国なくして社の発展はなかったと考えています。仕事上の付き合いだけでなく、中国の方々の親切があったからこそ仕事を続けることができました。今でもお世話になっていますし、何らかの形で恩返しをしたいと常々思っています。中国での事業拡大によって、中国の経済発展、雇用促進に少しでも力になれるよう、努力を続けています。



難波美術館には島田紳介さんをはじめ、多くの芸能人の方がいらっしゃいます。

### 上海万博への期待

また、私は上海万博の開催にも大変興味を持っており、上海万博が、世界的な景気低迷を払拭する起爆剤になってほしいと願っています。上海万博の開催による経済効果、内需の拡大によって、中国の景気の回復はさらに進み、日本をはじめとした各国に良い影響を与えるはずですので、その世紀の大イベントに、恩返しの一端として何らかの形で貢献できるのではないかと考えています。愛知万博に出店した際、私どもは貢献度の高さから、日本国際博覧会協会様より表彰を受けています。会場内の店舗では、たこ焼きや

焼きそば、かき氷といった軽食を提供し、毎日列が絶えることがあります。待ち時間や食事の時間を短く済ませることができると手軽な軽食は、万博会場の見学にできるだけ時間を使いたいという来場者のニーズを満たしていたと言えます。また、万博の目玉であったマンモスの展示品と関連し、自社商品のマンモスの牙を店舗に展示することも話題を呼びました。これは現在でも弊社美術館で見学が可能です。万博出店経験とノウハウを生かし、機会があれば上海万博の成功のために少しでも協力できれば幸いです。



日本国際博覧会協会様より、愛知万博での高い貢献を表彰いただきました。

株式会社 浦美術館

〒592-8341 大阪府堺市西区浜寺船尾町東2-213

TEL : 072-266-0095 URL : <http://www.ura-art.com/>

営業時間 : 9 : 00 ~ 17 : 30 (年中無休)